

西部中だより

西部中学校便り No.4

令和6年12月9日

文責 校長 吉牟田一広

現在地

11月28日に生徒会長選挙立会演説会がありました。2年生から5人が立候補し、公約や活動方針など生徒会活動への思いを語りました。どの候補者からも「自分たちの学校をより良くしたい!」という強い意志が伝わってきて、とても立派な演説でした。



具体的に取り組みたいこととして、

- 校則の見直し
- 生徒の意見を吸い上げること
- 2分前着席の徹底
- 清掃活動・地域貢献
- あいさつ運動

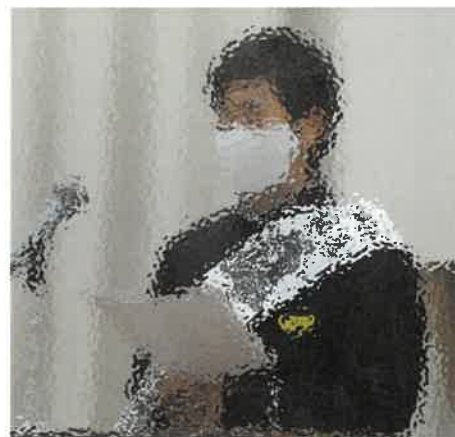
などを複数の候補者が取り上げていました。今の2年生の問題意識です。



その演説を受けて、質疑応答では、「西部中の問題点は何だと思われますか?」と1年生から質問が出されました。(事前に候補者の公約や活動方針について学級で検討し、その時出てきた疑問点を整理して代表者が質問します。) 候補者の中の一人が自分たちの生活を振り返って、「落ち着きがないこと」だと答えました。「だから2分前着席を徹底したい」と。

「学校生活に落ち着きがない」…生徒が自覚している「現在地」です。生徒会活動の出発点は問題意識だと私は常々思っていますが、そこをちゃんと認識しているところに頼もしさを感じました。

また、質問をした1年生も素晴らしいですね。1年生なりに問題意識を持っていたからこそ候補者がどのように考えているかを確かめたかったのでしょう。大切なことを外さない学級での話し合いがとても立派だと思います。これも「現在地」です。



合唱コンクールが終わった後に実行委員長・副委員長と対談をしました。



○合唱コンクールに何を望んでいましたか？

- ・行事に関心を持ってもらいたい。
- ・学校生活で学んだことの成果を発揮する場所。
- ・その行事での頑張りがそのあとの学校生活に生かされるようにつなげていきたい。
- ・今まで目立つことがなかった人も合唱コンクールという場で活躍してほしい。

○合唱コンクールを通して成長できたことは？

- ・女子と男子と普通にしゃべることができるようになった。
- ・班活動での協力が見られるようになった。
- ・積極的に意見が出せるような雰囲気になった。
- ・みんなの中に普段は入るのが苦手な人にも声を掛けて当日は一緒にステージに立つことができた。

○これからの学校生活に望むことは何ですか？

- ・1・2年生は次の学年での行事をまた楽しんでほしい。
- ・3年生は受験に向けて雰囲気づくりを大事にしたい。
- ・一人が崩れちゃったら周りがばらばら一となってしまふ。勉強でも楽しくできるようにお互いに引っ張っていくことができたらいいなー。

みんなで協力することの喜びを知っている二人でした。誰一人取り残すことなく団結できることを信じて、委員長・副委員長としての役割を果たしてくれました。感謝、感謝！

生徒会長・副会長は、体育大会や合唱コンクールを振り返って次のようなことを話していました。



- ・リーダー力が育っている。
- ・いつもは前に出てやるタイプじゃない人が行事をきっかけにみんなをまとめることができて意外な一面を見ることができた。
- ・リーダーをした人たちを中心に普段の生活で周りに呼びかける人が増えた(「2分前着席よー」とか)。

全学年を通してリーダー力を発揮できる学校にしたい。

自分たちの学校生活に日ごろから問題意識を持つことができています。そして、解決するために何が必要なのかを考えることもできます。これからの課題は、より多くの生徒が行動を起こすこと。人任せにせず当事者意識を持って「絶対的安心感」の実現を目指すこと。西部中の現在地はそこです。新しい生徒会長を中心として、より良い西部中学校に向かうことを大いに期待しています。